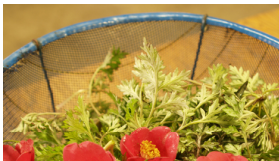


☆作業日あれこれ

3月の第2土曜日は、例年、作業で汗を掻くのが気持ちよい作業日です。森の入口を入る時、少しハッピのウグイスの鳴き声がするではありませんか。どこかで見回すとなんとウメの花の枝にくすんで地味な色の小鳥の姿があります。花札の「梅に鶯」を地で行く光景(但し、よく言われるように花札のウグイスほどに明るい色の羽ではありません。)に、本日の作業日のさい先の良さを感じたのですが……。



ツバキの花天ぷら



ツバキの花天ぷら

観察会は盆栽マツ氏の担当で、開花が気になる春植物(広辞苑にはこの項目はなく「早春期植物」と言うようです。)のキザキイゲからです。去年は3月17日に開花した写真がブログにアップされています。この花は陽の光が届かなければ開きませんので、曇り空の今日は開く状態になっていたとしても開花しませんのでわからないのですが、花の色をした蕾は膨らんでおり、今にも咲きそうです。この森にはこの花の群落はひとつしかありません。かつては対岸などにいくつも群落があったのですが、現在この地域ではおそらく一番勢いのあるものだと考えられます。次は灌木のウグイスカグラの花です。小さくて見落としそうな花で、この森で確認されたのも近年のことです。しかし、根元にはこの森にチャー・センターもなかった時期にやって来た小学生が「私の木」として選びぶら下げた木札が根元に朽ちていました。地味なこの木に関心を示した子どもがいたことを興味深く感じました。その後、偶然見つけたカツウリの交尾やイリソウの様子を観察して作業小屋へ戻りました。丁度その時から雨が降り出し、油断して合羽を持参しなかったことを反省すると共に、望んでもいない雨喜びになるのかと苦い思いにとらわれました。しかし、いつもの愛子様によるストレッチが終わり作業メニューを説明する段になると、マは「この雨は私の予想では30分で止みますので、予定通りの作業を実施します。」と自信たっぷりに宣言するではありませんか。雲の動きをインターネットで見たのかも知れませんが、その余りの自信に、マの心中にあった雨喜びに対する複雑な思い

も消え去りました。雨は30分もせずに止みそれぞれの作業場所に向かうことになりました。

竹材の伐り出しには少し遅くなっているのですが、クラフト用材料のストックが不足している（それだけ需要があるわけですが）と予想して、今月も作業続行です。



森で作る絵本

作業場所は森の南東

の端付近で、リーダーは青年

部長。ケキの林では、機械刈部隊がケキやエキなどのニ科の実生から育った木を残して、コヅやしぶとく生き残っているタケなどを刈っていました。立木を根本で切断しても、クズなどが巻き付いている木が多くて倒れず、この引き倒しに労力がいったようです。休憩の時間に念のために着ていた合羽を脱いで、早春の作業にもかかわらず大汗を掻いたと申しておりました。この他に先月に続いてアサ退治班もほぼ同じメンバーで作業をやっていました。この日は食事班以外に2班の特別作業があり、一班は作業小屋と石窯の間の仮設屋根のやり直しです。こうした技術を要する作業は親方と炭焼名人の世界で、こちらが聞けば暗号のような作業に関する言葉を交わしながらやっていました。もう一班は春の食材を森に求める作業です。天ぷら材料のモギの新芽とツバキの花、そして落味噌にするフキノトウを探しに大先生はお供を連れて森を歩いておられました。バルの酢味噌和えも期待したのですが「まだちょっと可哀想や。(球根を太らせて)来月にしとこ。ツクシがあったらよいんやが。」とのことでありました。季節の移ろいは素早く、旬の時期は一時、今はまだ早いタラの芽は来月の作業日には残り物状態、ツクシはその頃には終わっているでしょうし、ヤマトには早いことと思います。アサが気になる飲み助の頭の中です。

お昼の時間には何とか先月の轍を踏みまいと
考えながらト見習いテーブルで食事です。ムロイ
村御一行様達によれば「オチがおったであんな
ったんやが、今日はおらんで大丈夫やわ。」と
延長戦にもつれ込んだ先月の解説がされてお
りました。とにかく今月は、季節の天ぶらや春
キャベツなど楽しみ、恒例のミーティングを終え、無
事に午後の作業にと参加できました。

4月28日(水曜日) 週日活動 森の居酒屋は4月7日 午後7時頃～

4月10日(第2土曜日) 9時～(遅刻可)

主 催 者：遊 林 會

連絡先：東近江市 花と緑の推進課 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210 当日連絡先：携帯(丸橋)090-3352-3163

Eメールでも、ご意見をお待ちしています。E-mail: ikimono@e-omi.ne.jp

第4水曜日はあいにくの雨、しかも冬に逆戻りかと思わせる寒さのせいカスタッフを入れて12人のみの参加でした。うち5人が作業班で7人が料理班&裏方となり、作業班の人数の方が少ないという珍しい事態となりました。作業に集まった5人は、冷たい雨が降る中どうしようかと迷ったのですが、こんな雨の中でも森に来るからにはみなさん「その気」なわけですからカッパを着て外の作業をしようということに。その内容は、昨年10月に襲来した台風により倒れたまま放置しておいたマルバアザミの木処理です。雨の中チェーンソーで倒木を玉切りし少人数でエコラと搬出し…となかなかの重作業です。こうして台風で倒れた木をせっかくだから大事に使おうということで、その後は帯鋸を使い板状に挽く作業を行いました。挽いた材は文字通りまだまだ荒削りですが、しばらくは乾燥させ、きれいに仕上げたらネチャーセンターで子どもたちの絵本を置くための棚に使いたいなあと考えています。一方料理班はいつもより余裕を持って調理を仕上げていただきながらも、いつものようにおいしい料理を作ってくださいました。3種類の魚が入った南蛮漬、大根ステーキ、キャベツのコールスロー、おから、そしてポトフが並び、おいしく賑やかなお昼を楽しむことができました。遊林会の作業そのものは年度ごとに柄があるわけではありませんが、お役所風に言えばこの3月の第4水曜日をもって平成21年度の遊林会作業は終了。21年度は毎月2回の定例活動に加え定例活動日がない週の木曜活動日「木まクラブ」も含めると49回の保全作業を実施し、887人が参加してくださいました。一番遠くからのおこしは兵庫県の方で、電車を乗り継いで来てくださいました。みなさん、お疲れ様でした。4月からもよろしくお願いします！

★森は満8歳！

河辺いきものの森が正式オープンしたのは2002年3月19日。先日で丸8年が経ちました。これまで、いったいどれくらいの人に来てくださったのだろうかと勘定してみると、この3月27日現在までの来場者数合計はなんと17万552人！このうち、我々スタッフが案内・対応させていただいたのは95,745人（総来場者数の56%）・2,807団体にのぼります。常々言っていることですが、この森に来た人の2人に1人以上の人にスタッフが対応しているということが普通の公園とは異なることであり、河辺いきものの森の利用上の大きな特徴です。さらにこのうち54,816人・1,114団体は保育園から大学生までの子ども・生徒たちで、8年前に小学生だった子どもが今はもう大学生や社会人になっていて、中には今でも森に来てくれている「大

人」もいるのです。

このようにたくさんの子どもたちが森に来てくれています。彼ら彼女らが学生になって大きな都会に出ていったとしても、そのうちの何人かが就職場所を選ぶ際に「自分の育ったところには河辺いきものの森があったな。将来家族ができて子どもが生まれたら、自分のように河辺いきものの森で遊ばせてやりたいな」と思い、この地に再び帰ってきてくれるきっかけとなるならば、これに勝る喜びはありません。もしかするとあと数年後には、本当にこうした思いを持ってUターンしてくれる若者が出てくるかもしれませんね。ちなみにこの8年の間に遊林会の活動は380回実施し、7,826人が参加しています。

★河辺いきものの森スタッフ・ルーム情報

スタッフルームに、待望のニューフェイス登場です！身長170cmくらい、細身の竹ノ岸本くんです（愛子談）。植物・昆虫など、現スタッフよりもマニアックな情報を知っている岸本くん。今後遊林会で活躍してくれること間違いなしです。新たなスタッフ加入で、スタッフルームもフレッシュになる予定です！！

また、遊林会事務局でもある花と緑の推進課が4月1日付けで、『生活環境課 八日市いきものふれあいの里』という名称に変わります。今までと同様によりしくお願いします。

★5月15日あれこれ ～春の森で過ごす1日！～

●10:00～15:00は「はじめてのえほんづくり

～大人編:春の里山を舞台にした絵本を作ろう!!～」を行います。遊林会にも来てくださっている、やぶうちひでみさん（絵本作家）を案内人に招き、春の里山絵本を作ります。

●夕方からは、毎年みどりのつどい前夜祭として行われている、**春の室内楽コンサート**を行います。内容は未定ですが、来月号には詳細をお知らせします。

どちらのイベントも、詳しいことはホームページをご覧ください。

ぜひ5月15日は1日予定をあけていただき、絵本をつくり、コンサートを楽しんでもらい、春の森をたっぷり味わってください！！

★4月の作業日、お昼は？

4月は地元のお祭りのためエース級が不在、また料理部隊の隊長・愛子さんも不在…となるとメニューはもちろんカレーです。山菜の天ぷら、バル、ヤブカンゾウのぬたなど、春の味は楽しめるのでしょうか…

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！

発行者：東近江市建部北町 河辺いきものの森イチャセンター内 遊林会 世話役 武藤精蔵 Tel 0748-20-5211

URL:<http://www.yurinkai.org/> or ”遊林会”あるいは、”里山保全活動”で検索 あなたの思いを伝言板へ